

使用機器と患者の協力

温熱ネブライザーの試作と慢性副鼻腔炎への試用

神戸常盤短期大学 衛生技術科

佐藤 良暢

まず、テーマとして与えられた温熱付加条件を満たしうる装置を試作し、粒度分布適正を確認した。次に、慢性副鼻腔炎患者60名につき、一定処方のDKBおよび dexamethasone をエアロゾル母液として使用、病態改善度を比較検討した結果、一定の温熱効果が認められた。簡単な安静口呼吸下の吸入法であるので、幼児や高齢者の慣れも早かった。

慢性副鼻腔炎のネブライザー療法には、今回用いたコンプレッサー加圧式ジェットネブライザーを用いる場合のほか、超音波式、振動付加式、スプレー・ジェット式などの利用があるが、治療効果を向上せしめるためには、小児に早く慣れさせること、ステロイドやワクチンスプレーなどの場合の噴射方向の母親への指導、副鼻腔内への加圧のコツなどが患者の協力法としてクローズアップされるが、一方では小児や高齢者にも特別な協力なしに実施でき、吸入効果を上げうるネブライザーの技術的開発も必要と思われた。